

先週のマーケット動向(2月10日~2月14日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,457.5	1,458.0	1,440.5	1,443.5	▲4.3
JPY/KRW	9.5822	9.5984	9.3717	9.4584	▲0.090
KOSPI	2,510.64	2,600.57	2,499.18	2,591.05	+69.13

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週末に米国が相互関税の適用を検討との報道が伝わり、関税を巡る懸念が再燃。週初のドル/ウォンは1,457.5ウォンでオープンした。その後関税を巡る懸念や米CPI・PPIの発表を控えインフレ懸念からドルは堅調推移が続いた。米1月CPIは予想比小幅に上振れるも、ウクライナ戦争に関して米露首脳が電話会談を行い、終結に向け前向きであると報じられたことから地政学リスクが後退し、ドル/ウォンは週後半にかけて下落。米PPIもPCE価格指数の影響項目ではインフレの伸びが限定的だったことが好感されドル売りに。また米相互関税が正式に発表されるも、実際の手続きには相応に時間を要することや不確実性が後退したことからドル売りとなり、前週末比▲4.3ウォンの1,443.5ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

先週注目された米相互関税を巡る懸念については、関税発動までの手続きに時間を要し、4月以降になることから一旦後退。一部指標の悪化を受けて米金利は低下するも、パウエルFRB議長の議会証言では利下げを急がない方針が改めて示されたことからドル売りが一段と強まる状況では無いだろう。今週のドル/ウォンは明確な材料に欠く中、主に1,430ウォン~1,450ウォンのレンジで上下する展開か。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1430 ~ 1455	9.35 ~ 9.65	150.5 ~ 153.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 17日(月) 日 12月 鉱工業指数 確報値
日 4Q GDP 速報値
- 18日(火) 米 2月 NY連銀製造業指数
- 19日(水) 米 1月 住宅着工件数
日 12月 機械受注
日 1月 貿易統計
日 FOMC議事録
- 20日(木) 米 2月 失業保険新規申請者数
- 21日(金) 米 2月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
米 2月 製造業PMI 速報値
欧 2月 製造業PMI 速報値
欧 2月 サービス業PMI 速報値
米 2月 サービス業PMI 速報値
欧 2月 消費者信頼感指数 速報値
日 1月 CPI
米 1月 中古住宅販売件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。